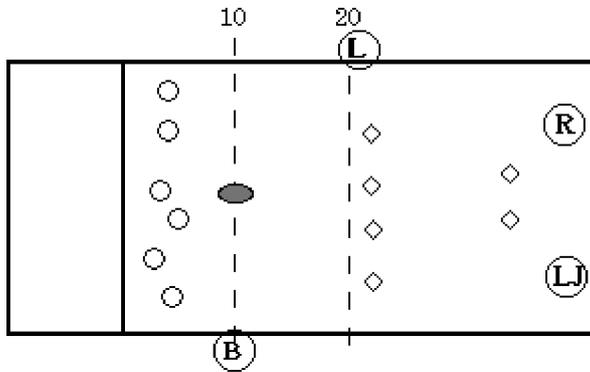


(1)4人制におけるポジション

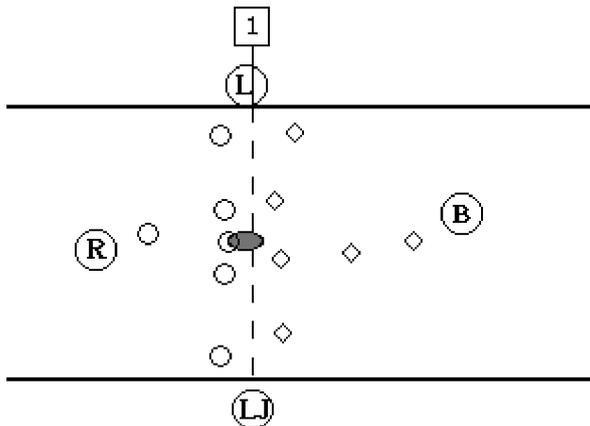
【R=レフェリー、L=ラインズマン、LJ=ラインジャッジ、B=バックジャッジ】

[関東女子では、原則として5人制を採用するが、もし4人制で行う場合にはLおよびLJを女子審判員とする]

(a) キックオフ時のポジション

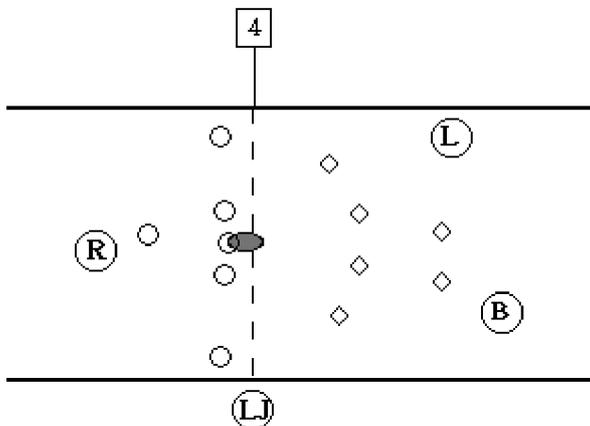


(b) スクリメージ・プレイ(パントを除く)時のポジション



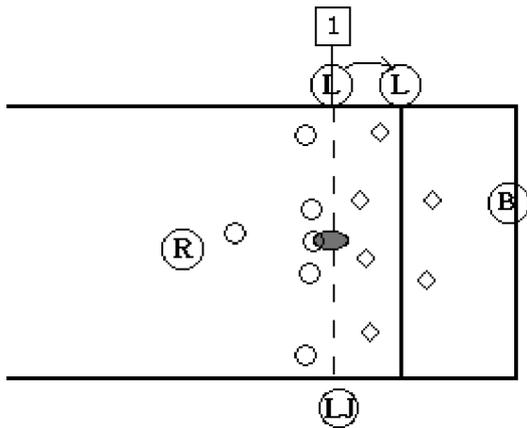
- パスが投げられたら、L/LJは落下地点に走り寄る。

(c) パント時のポジション



- Lは、リターナー側に位置する。
- LJは、宣言パントにおいては両チームの選手がスクリメージを越えない事を、宣言パントでなければ、スクリメージ付近の反則を、それぞれケアする。

(d) ゴールライン・プレイ時のポジション



- Lは、ゴール前5ヤード程度前からのプレイ時には、プレイ開始後、ゴールラインをケアする。
- ゴール前5ヤードより遠い場合には、自身側へのプレイがないものは素早くゴールラインをケアする。
- Bはエンドラインをケアする。

(2) R、L、LJ、Bの分担は以下のとおりとする。

- Bは反則を記録する。
- 試合計時の確認はRとBが行う。
- 反則の施行はBが行う。
Lも同時に施行して確認する。
LJは施行が完了するまで施行基準点に位置し、施行完了後移動する。
- 反則をしたサイドのLまたはLJはチームの代表者に反則の説明と可能ならば反則をしたプレーヤーの番号を伝える。
- 25秒計時は掲示時計がある場合にはRとBが管理し、無い場合にはRが自身の時計で行う。
- LとLJはそれぞれのサイドのボールパーソンを管理する。
またサイドライン際のチームエリアを管理する。
(サイドラインの外からチームエリアまでの領域は審判の走るエリアである。ここに選手やコーチ、あるいは障害物がないことを確認する。)
- Lはチェーン補助員の指導管理を行う。
また、チェーンはサイドラインから1ヤード外に立てさせる。
- チームタイムアウトの30秒計時は、Bが行う。

R	<ul style="list-style-type: none"> • 試合計時の確認 • 25秒計の管理(あるいは計測)
L	<ul style="list-style-type: none"> • チェーンクルーの指導・管理 • 自身のサイドのチームのボールパーソンの指導・管理(*) • 自身のサイドのチームへの反則の伝達(*) • 自身のサイドのチームをチームエリアから出ないように指導(*)
LJ	<ul style="list-style-type: none"> • 反則施行時に、反則基準点を指し示す • 自身のサイドのチームのボールパーソンの指導・管理(*) • 自身のサイドのチームへの反則の伝達(*) • 自身のサイドのチームをチームエリアから出ないように指導(*)
B	<ul style="list-style-type: none"> • 試合計時の確認 • 25秒計の管理 • 罰則の施行 • 反則の記録 • チームタイムアウト(30秒)の計時

*: 関東女子では女子審判員にはこの項目は指導していないので、男性審判でカバーする。